



与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和7年度5月号

与路っ子 5

5月に思うこと

校長 松村 健吾

奄美も梅雨入りし、じめじめした季節ですが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。特に地域の方々に見守られながら活動をする元気な様子が、私たちの活力となっています。19日はふれあい活動があり、地域の皆さんに八月踊りを教わったり、「ボッチャ」というゲームをしたりと楽しい時間を過ごしました。いつも温かく子どもたちを支えてくださり、誠にありがとうございます。

さて、今年も大活躍しそうな大リーガーの大谷選手のお話です。

大谷選手は、試合中や練習中でも、グラウンドに落ちているゴミをさりげなく拾う姿がよく見られます。これは高校生の時から続けている習慣だそうです。

なぜゴミを拾うのかと聞かれた時、大谷選手は「人が捨てた運を拾っているんです。」と答えたそうです。

誰も見ていないところでもよい行いをすることで、幸運を引き寄せる。これは、誰かに褒められるためではなく、自分自身の心を磨き、よい運気を引き寄せるため、という大谷選手なりの考え方です。

小さなことでも、よいと信じる行いを続けることの大切さを教えてください。

「よいこと」を一つひとつ積み重ね、そして「続ける」という経験は、子どもの成長にとって、私たちが想像する以上に大きな意味を持ちます。

では、そのためにできるサポートは何でしょうか。

- 1 子どもの小さな「よいこと」を見逃さず、具体的に褒める。
 - 2 結果が出なくても、焦らず温かく見守る。
 - 3 大人が、何かに真摯に取り組む姿を見せることも、大きな影響を与えます。
 - 4 失敗を恐れずに挑戦できる安心感を与える。
- の4つが考えられます。

学校も、子どもたち一人ひとりの頑張りを見守り、励まし、その成長を丁寧にサポートしてまいります。

春の一日遠足

5月2日(金)、春の一日遠足が行われました。遠足は年2回、池地中学校と合同で行います。

今回は、加計呂麻島の鎮西地区を訪ねました。西田製糖工場見学、諸鈍海岸、島尾敏雄文学碑等を巡ったり、いっちゃんむん市場で買い物したりと、充実した一日となりました。



海遊び

4月25日(金)、待ちに待った海遊びがありました。天候不良で延期続きだったので楽しさが倍増しました。みんなで魚釣りをしたり、貝拾いをしたりしました。初めて釣りをした子たちも魚が釣れて、笑顔がはじけた一日となりました。



中学校合同宿泊学習

5月13日(火)から15日(木)の三日間、三島合同中学校宿泊学習(伊子茂・諸鈍・池地・与路)が奄美少年自然の家で開催されました。

初日はボッチャやインディアカ、ナイトウォークも体験できました。2日目は、七宝焼きや自転車モトクロスを楽しみ、テント設営をして自分たちでカレーを作って食べました。天体観測をしてテントに寝たのですが、その日は風も強くちょっと怖かったけどいい思い出になりました。



ふれあい活動

5月19日(月)にふれあい活動として八月踊りとボッチャ大会を開催しました。天候が悪い中でしたが、地域の方にも多数ご参加いただき、子供たちもおおいに楽しんでいました。御協力ありがとうございました。



おもな6月の行事

- 2 (月) 町教育委員会訪問
- 4 (水) 租税教室
- 21 (土) 海岸清掃・海開き
- 23 (月) 池地・与路交流学习
- 26 (木) 家庭学習強化期間(～7/2)

